

臨床研究へのご協力をお願い

【臨床研究名】

甲状腺視神経症患者の診療実態に関する調査研究

【研究の意義および目的】

甲状腺眼症による視神経症は失明のリスクの高い甲状腺眼症の最重症型であり、視力障害に対する早急な診断と適切な治療が必要とされますが、わが国では診療に関する十分なエビデンスがありません。そこで、わが国における甲状腺視神経症の診療の実態を明らかにして、特に視神経症の重症度や選択された治療法とその効果、追加治療の有無および長期予後との関連を調べることを目的として、多施設で共同研究を行います。

【対象になる方および利用の方法】

2017年～2021年に甲状腺眼症による視神経症に対して野口病院で治療を受けた方で以下の条件に合致する方にご協力をお願いいたします。

1. 治療開始時の満年齢が20歳以上の日本人の方。
2. 矯正視力が0.5未満、または視力低下が軽度(0.5～1.0未満)でも中心フリッカ一値の低下または視野異常を認め、MRIの画像で甲状腺眼症と視神経の圧迫所見を認めた方。

診療録から得られたデータを共同研究機関に提供します。多施設から集まったデータを集積して分析します。

【研究協力について】

この研究に同意されない方は以下の書式で同意しないことをお知らせください。同意されなくても今後の診療に不利益を来すことはありません。同意いただける場合にはカルテから得られるデータを研究に使用させていただきます。研究の結果は論文として報告する予定ですが、プライバシーに充分配慮して個人が特定出来ないように報告します。

【研究責任者】

医療法人野口記念会野口病院 名誉院長 村上 司

【問い合わせ先】

医療法人野口記念会野口病院 外来予診室